MEDIAEDGE

MEDIAEDGE CLEB P4-HDMI

(型番 ME-CLEB-P4-H)

取扱説明書



2020 年 12 月 1 日 第 1.0 版 Copyright (C) 2016-2020 MEDIAEDGE Corporation

改訂履歴

版	FirmWare	年月日	改訂内容
1.0	2.1.9.x	2020/12/1	初版

目次

目次	.i
I. はじめに	1
I-1. 本製品を使用される際の注意事項	1
■ 注意事項	2
■ 個人情報の取扱について	2
■ 商標について	3
■ 警告	3
I-2. ご使用前に	1
■パッケージ内容の確認	1
■ 当社ホームページについて	1
■ ソフトウェアのバージョンについて	1
I-3. 留意事項	2
■ 表記について	2
■ ご注意	2
■ 制限事項	2
■ 利用許諾について	2
I-4. 概要	3
■ I-4-1. MEDIAEDGE CLEB P4-HDMIの概要	3
■ I-4-2. 主な機能	3
■ I-4-3. エンコード仕様	3
I-5. 各部の名称	4
■ I-5-1. 本体前面	4
■ I-5-2. 本体背面	5
■ I-5-3. ライブエンコーダー画面	6
I-6. 機器の接続、起動と終了	9
■ I-6-1. 機器の接続	9
■ I-6-2. 起動	0
■ I-6-3. 終了1	0
II. Web コンソール1	1
II-1. WEB コンソールの起動1	1
■ II-1-1. トップページ1	2

■ II-1-2. 状態	3
■ II-1-3. ログ14	4
■ II-1-4. 設定1	5
■ II-1-5. ユーザーアカウント2	2
■ II-1-6. 録画ファイル2	3
■ II-1-7. システム	5
III. 配信	6
III-1. 配信手順	6
■ III-1-1. 開始	7
■ III-1-2. 停止	8
IV. 録画	9
IV-1. 録画手順2	9
■ IV-1-1. 設定	9
■ IV-1-2. 開始	0
■ IV-1-3. 停止	1
IV-2. 録画ファイルの参照	2
■ IV-2-1. 設定	2
■ IV-2-2. 接続	2
V. サポート情報	3
V-1. トラブルシューティング	3
■ V-1-1. ライブエンコーダー	3
■ V-1-2. Web コンソール	3
■ V-1-3. 出力映像	3
V-2. 注意事項	4
VI. Appendix	5
VI-1. 仕様	5

I. はじめに

この章では、MEDIAEDGE CLEB P4-HDMI のご使用前に確認していただきたい事項や、ご注意いただきたい 事項について説明します。

I-1. 本製品を使用される際の注意事項

ここでは、本製品を使用されるときにご注意いただ きたい事柄について説明しています。ご使用方法 や、この内容について不明な点、疑問点などがご ざいましたら、メディアエッジ株式会社 カスタマー サポートまでお問い合わせください。

メディアエッジ株式会社 カスタマーサポート TEL:078-265-1552 FAX:078-265-1550 (月曜~金曜 10:00~12:00、13:00~ 17:00 ※祝日や当社指定休日を除く)

🚫 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。コードの上に重いものをのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工したりしないでください。AC アダプターを抜くときは、プラグ部分を持ってください。コードが傷んだら、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまで交換をご依頼ください。

🚫 分解しない

ケースを開けたり改造したりすると、火災や感電の 原因となります。内部の点検、修理はお買い上げ の販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご 依頼ください。

因となります。

● ほこりや湿気の多い場所で使用しない ショートや発熱が起こり、火災や感電の原因となります。

🚫 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。 万一、水や異物が入った場合は、本体の電源を 切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い 上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートま でご連絡ください。

◇ 雷が鳴り出したら使わない 本体や、プラグには触れないでください。感電の原

- ◇ ぬれた手で AC アダプターを触らない ぬれた手で AC アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 直射日光の当たる場所に置かない
 日光の当たる場所や熱器具のそばに置かないでください。火災や製品の故障の原因となります。

反 煙が出た状態で使用しない 煙が出る、異臭がするなどの異常状態で使用 しないでください。火災や製品の故障の原因とな

MEDIAEDGE

ります。

異常が発生したら、本体の電源を切り、電源プラ グを抜いて、煙が消えたのを確認してから、お買い 上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートま でご連絡ください。

🚫 製品が破損した状態で使用しない

本製品を落としたり、カバーを破損した状態のまま 使用したりしないでください。火災や製品の故障 の原因となります。製品が破損した場合は、本体 の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、 お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポ ートまでご連絡ください。

🗥 不安定な場所に置かない

不安定な台の上や傾いたところに置かないでくだ さい。落下するおそれがあり、けがをしたり、製品の 故障の原因となります。

電源コードや AV ケーブルは整理して配置してくだ さい。 足にひっかけると、 けがや製品の故障の原因 となります。

🗥 お手入れの際は電源を切る

接続するときやお手入れの際は、電源コードを抜いてください。感電や製品の故障の原因となります。お手入れの際は、シンナーなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。長期間使用しないときは、AC アダプターをコンセントから外してください。

▲ 付属の AC アダブター以外は使用しない 付属の AC アダプター以外の製品を使用しないで ください。火災や製品の故障の原因となります。

🗥 本体を布などで覆わない

風通しの悪い場所や布などで覆った状態で使用 しないでください。通風孔がふさがれると内部に熱 がこもって、火災や製品の故障の原因となります。

■ 注意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運 用において発生した逸失利益を含む特別、付随 的、または派生的損害に対するいかなる請求が あったとしても、当社はその責任を負わないものと します。

製品本来の使用目的及び、当社が推奨する使 用環境以外での本製品の動作保証は、一切い たしかねます。

■ 個人情報の取扱について

当社では、お客様の個人情報は原則として下記の目的以外では使用いたしません。

- ご利用の当社製品のサポートの実施
 当社製品の使用状況調査、製品改良、製
 品開発、サービス向上を目的としたアンケートの実施。
 - ※ 調査結果につきましては、お客様の個人 情報を含まない形で当社のビジネスパー トナーに参考資料として提供することがあ ります。
- 銀行口座やクレジットカードの正当性、有効 性の確認。
- ソフトウェアのバージョンアップや新製品の案内 等の情報提供。
- 懸賞企画等で当選されたお客様への賞品の
 発送。

事前にお客様のご了承を得た上で、上記以外の 目的で使用させていただく場合があります。 当社ではご記入いただいた情報を適切に管理し、 特段の事情がない限りお客様の承諾なく第三者 に開示・提供することはございません。

お客様の個人情報の取扱いに関するお問い合わ せ、ご意見 http://www.mediaedge.co.jp までご連絡ください。

■ 商標について

- MEDIAEDGE は、メディアエッジ株式会社の 登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、 HDMI Licensing LLC の商標または登録 商標です。
- Microsoft、Windows は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。
- ④ その他の商品名やそれに類するものは各社の 商標または登録商標です。

■ 警告

■ 健康上のご注意

ごくまれに、コンピューターのモニターおよびテレビ画 面に表示される強い光の刺激や点滅によって、一 時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされ る場合があります。こうした経験をこれまでにされた ことがない方でも、それが起こる体質をもっているこ とも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、 経験をお持ちの方の血縁にあたる方は、本製品 を使用される前に必ず医師と相談してください。

■ 著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像/ 音声をキャプチャーしたデータは、動画、静止画に 関わらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、 権利者に無断では使用できません。また、個人と して楽しむ目的であっても複製が制限されている 場合があります。キャプチャーしたデータのご利用に 対する責任は当社では一切負いかねますのでご 注意ください。

I-2. ご使用前に

■パッケージ内容の確認

MEDIAEDGE CLEB P4-HDMIのパッケージの中に以下の付属品が入っていることを確認してください。製品の梱包には万全を期しておりますが、万一不足しているものがありましたら、ご購入いただきました販売店もしくは下記カスタマーサポートまでご連絡ください。

メディアエッジ株式会社 カスタマーサポート TEL:078-265-1552 FAX:078-265-1550 (月曜~金曜10:00~12:00、13:00~17:00 ※祝日や当社指定休日を除く)

MEDIAEDGE CLEB P4-HDMI 同梱物

- MEDIAEDGE CLEB P4-HDMI 本体×1
- 電源ケーブル×1
- USB キーボード×1
- USB マウス×1
- 簡易説明書 ×1
 ※本書(取扱説明書)は当社ホームページからダウンロードできます。
- お客様情報登録案内×1
- 同梱物一覧シート×1

■ 当社ホームページについて

MEDIAEDGE CLEB P4-HDMI を始めとする当社の最新情報をホームページ

(<u>http://www.mediaedge.co.jp</u>) にて発信しています。

当社ホームページに是非アクセスいただきご活用ください。

ソフトウェアのバージョンについて

本書では MEDIAEDGE CLEB P4 バージョン 2.1.9.x の操作方法を説明しています。

I-3. 留意事項

■ 表記について

- 本書の説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 説明の便宜上、実際の製品とイラストおよび画面写真が異なる場合があります。

■ ご注意

- 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- 本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤り、記載漏れなどお気付きの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、
 解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアッセンブリを禁じます。

■ 制限事項

現行ソフトウェアでの制限事項を示します。

■ 利用許諾について

本製品は、搭載するソフトウェアの一部に GNU 一般公衆利用許諾(GNU General Public License、以下「GPL」と呼ぶ)または GNU 劣等一般公衆利用許諾(GNU Lesser General Public License、以下「LGPL」と呼ぶ)に該当するフリーソフトウェアを利用しています。

GPL/LGPL 該当のソフトウェアのリスト、ソースコードの請求、および本件に関する質問は当社カスタマーサポート までお問い合わせください。

I-4. 概要

■ I-4-1. MEDIAEDGE CLEB P4-HDMIの概要

本製品は、高品質ビデオ映像のライブストリーミング配信と内蔵ストレージへのローカル録画に対応した省スペー ス型専エンコーダーです。MEDIAEDG クラウドサービスにも対応しており、インターネット配信でも使用できます。

■ I-4-2. 主な機能

- ライブ配信と同時に録画にも対応。
 - > RTMP による配信サーバーのパブリッシュ、RTP によるストリーム配信の両方に対応。
- 録画ファイルの FTP サーバーまたは MMDS サーバーへの自動アップロードに対応。
 - MP4 および MPEG2-TS 形式での録画に対応。
 - ▶ 分割、ループ録画も可能。
- 初期設定を行うだけで、電源 ON で簡単に使用可能。
- 細かな初期設定と監視機能により安定したライブ配信を実現。
- WEB ブラウザーによる設定が可能。

■ I-4-3. エンコード仕様

- 録画ファイルの閲覧、アップロード、削除、詳細情報確認などの管理が可能。
- ライブ配信に必要なマルチビットレートのエンコードに対応。
 - ▶ 同時に最大 2 ストリームの映像配信が可能

ビデオ		
フォーマット	H.264	
対応プロファイル	Baseline, Main, High	
ビットレート	最大 40Mbps	
解像度	最大 1920×1080	
フレームレート	1, 5, 10, 15, 23.98, 24, 25, 29.97, 50, 59.94	
オーディオ		
フォーマット	AAC	
ビットレート	最大 512kbps	
サンプリングレート	32kHz, 44.1kHz, 48kHz	
チャンネル	最大 2 チャンネル	
ファイル		
コンテナ	MP4, Flash Video (flv), MPEG-TS	

I-5. 各部の名称

■ I-5-1. 本体前面



図 I-1 本体前面

①USB3.0 端子	USB メモリまたは USB 外付ディスクなどを接続します。
②USB2.0 端子	キーボードやマウスなど USB 周辺機器を接続します。
③電源スイッチ	電源を ON/OFF するスイッチです。
④マイク入力端子	使用しません。
⑤ヘッドフォン端子	使用しません。

■ I-5-2. 本体背面



図 I-2 本体背面

①HDMI 出力端子	CLEB-P4の操作画面を出力する HDMI 端子です。		
②アナログ RGB			
D-Sub15	使用しません。		
出力端子			
③LAN 端子	CLEB-P4 をネットワークに接続するための Gigabit Ethernet 端子です。		
④USB2.0 端子	キーボードやマウスなど USB 周辺機器を接続します。		
⑤DC 電源入力端子	付属の専用 AC アダプターの DC 出力端子を接続します。		
⑥HDMI 出力端子	エンコード用の映像をパススルー出力する HDMI 端子です。		
⑦HDMI 入力端子	エンコード用の映像を入力する HDMI 入力端子です。		

■ I-5-3. ライブエンコーダー画面



図 1-2 メイン画面

①Webコンソールボタン	Web コンソールを開き、設定画面に移行します。
②シャットダウンボタン	CLEB をシャットダウン、もしくは再起動します。
③音量ピークメーター	入力音声のピーク値を表示します。
④プレビュー映像	入力映像を表示します。
⑤開始ボタン1	OUTPUT1 のエンコードを開始します。
⑥停止ボタン1	OUTPUT1 エンコードを停止します。
⑦開始ボタン2	OUTPUT2 のエンコードを開始します。
⑧停止ボタン2	OUTPUT2 のエンコードを停止します。
⑨状態タブ	状態(入力フォーマット、エンコード情報など)を表示します。
10設定タブ	設定を表示します。設定の変更は Web コンソールから行います。

MEDIAEDGE CLEB P4-HDMI 取扱説明書



図 I-3 状態タブ

①入力ビデオ	入力されているビデオのフォーマットを表示します。			
	状態が正常でない場合、文字色が変わります。			
	白	状態は正常です。		
	オレンジ	入力されているビデオのフォーマットが設定と一致しな		
		いため、エンコードできません。		
	赤	ビデオが入力されていません。		
②入力オーディオ	入力されているオーディオのフォーマットを表示します。			
	状態が正常でない場合、文字色が変わります。			
	白	状態は正常です。		
	オレンジ	入力されているオーディオのフォーマットが設定と一致		
		しないため、エンコードできません。		
	赤	オーディオが入力されていません。		
③入力ドロップフレーム数	キャプチャーデバイス内で落としたフレーム数を表示します。			
④経過時間	エンコードの経過時間を表示します。			
⑤CPU 使用率	エンコード中の CPU 使用率を表示します。			
	使用率が上か	使用率が上がると、文字色が変わります。		
	白	85%以下。比較的、安定してエンコードできます。		
	オレンジ	85%~95%未満。エンコード可能ですが、やや負		
		荷が高めです。		
	赤	95%以上。負荷が高く、エンコードが間に合わない		
		可能性があります。		
⑥ネットワーク出力	エンコード中の	ネットワーク出力を表示します。		
⑦内蔵ストレージ空き容量	内蔵ストレージ	ジの空き容量を表示します。		
	空き容量が少	なくなると、文字色が変わります。		
	白	5GB 以上。		
	オレンジ	1GB~5GB 未満。		
	赤	1GB 未満。空き容量が 1GB 未満になると、録画で		
		きなくなります。		
8)エンコード状態 エンコードの状態を表示します。		態を表示します。		

MEDIAEDGE

MEDIAEDGE CLEB P4-HDMI 取扱説明書

	Disabled	エンコードするように設定されていません。		
	Ready	エンコードを停止しています。		
	Running	エンコード中です。		
	Pausing	エンコードを一時停止しています。入力されているビ		
		デオやオーディオのフォーマットが設定と一致しない		
		場合、エンコードは一時停止されます。		
	Restarting	エラーで中断されたエンコードを再開させようとしてい		
		ます(ネットワーク出力の場合のみ)。		
	Aborted	エラーでエンコードが中断されました。		
9FPS	エンコードの FPS を表示します。			
⑩待ちフレーム数	エンコード待ちのフレーム数を表示します。			
	値が増えてくると、文字色が変わります。			
	白	2.5 秒分のフレーム数以下。		
	オレンジ	2.5 秒~5 秒未満分のフレーム数。		
	赤	5 秒分のフレーム数。溢れたフレームはドロップされま		
		す(出力ドロップフレーム数が増えていきます)。		
⑪出カフレーム数	エンコードされたフレーム数を表示します。			
12出カドロップフレーム数 エンコードされる		「に破棄されたフレーム数を表示します。		

I-6. 機器の接続、起動と終了

■ I-6-1. 機器の接続

以下の接続例を参考に、運用に合わせて MEDIAEDGE CLEB Portable と周辺機器を接続してください。

1、本体にキーボードやマウス、操作用ディスプレイを接続して 直接操作する場合の接続例



 本体を LAN に接続し、LAN 上の PC から WEB ブラウザーで 操作する場合の接続例



■ I-6-2. 起動

本体に AC アダプターの DC 出力コネクタと映像ケーブル(配信する場合はネットワークケーブルも)を接続してください。本体に DC 出力コネクタを接続し前面にある電源ボタンを押してください。

■ I-6-3. 終了

ライブエンコーダー画面の右上にある終了ボタンを押してください。ボタンを押すと、確認ダイアログが表示されます ので、シャットダウンする場合は「Shutdown」ボタン、再起動する場合は「Reboot」ボタンを押してください。 ライブエンコーダー画面での操作ができない場合は、後述する Web コンソールからもシャットダウンさせることができ ます。本体前面にある電源ボタンを押しても自動的にシャットダウンします。

II. Web コンソール

Web コンソールは、Web ブラウザーを通して CLEB の設定や操作を行うための Web アプリケーションです。 この章では Web コンソールの操作方法について説明します。

II-1. WEB コンソールの起動

ライブエンコーダー画面の右上にある「設定」ボタンを押すと、画面上に新規ウィンドウが表示され、Webコンソールに接続します。

Web コンソールに接続すると、認証ダイアログが表示されます。ユーザー名とパスワードを入力し、「OK」ボタンを 押すと、ウィンドウ上に Web コンソールが表示されます。

他の PC から接続する場合は、CLEB をネットワークに接続し、Web ブラウザーの URL 欄に、

http://<CLEBのIPアドレス>/console と入力します。

例えば、IP アドレスが「192.168.1.101」の場合、「http://192.168.1.101/console」と入力します。

出荷時のユーザー名とパスワードは以下のように設定されております。

ユーザー名	console
パスワード	default

ユーザー名とパスワードは Web コンソール上で変更可能です。

変更方法は、後述の「ユーザーアカウント」を参照してください。

■ II-1-1. トップページ

Web コンソールのメインとなるページです。トップページには CLEB のライブエンコーダーに関する状態が表示されます。表示は 5 秒毎に自動で更新されます。

MEDIAED	GE-CLEB 状	態 ログ 🎚	安定 ユー	ザーアカウント 録詞	อีวราน (1)	৶⋥⋝⋖
MEDIA	AEDGE-C	LEB				
		状態	FPS	出カフレーム	詳細	
入力		Running	30.00	389	[Video]1920x1080 1:1 29.97 Upper, [Au	lio]48000Hz 2ch
出カスト	U— L 1	Ready	0.00		D:\Record\REC1_%t.m2ts	2
出カスト	U-62	Ready	0.00		udp://SVS1	
	エンコード#	1を開始する		コード#1を停止する	る エンコード#2を開始する	エンコード#2を停止する 3

図 II-1 トップページ

①ナビゲーションバー	各ページや操作へのリンクが表示されます。
②状態	ライブエンコーダーの状態を表示します。
③エンコードボタン	エンコードの開始・停止を行うボタンです。

MEDIAEDGE-CLEB 状態 ログ 設定 ユーザーアカウント 録画ファイル

システム

図 II-2 ナビゲーションバー

MEDIAEDGE-CLEB	トップページを開きます。
状態	状態ページを開きます。
ログ	ログページを開きます。
設定	設定ページを開きます。
ユーザーアカウント	ユーザーアカウントページを開きます。
録画ファイル	録画ファイルのアップロードや削除ページを開きます。
システム	バージョン情報の確認、電源管理(シャットダウンや再起動)を
	行うページを開きます。

■ II-1-2. 状態

CLEB 全体の状態が表示されるページです。トップページでは、ライブエンコーダーに関する状態のみ表示されますが、状態のページではネットワークも含めた CLEB 全体の情報が表示されます。表示は 5 秒毎に自動で更新されます。

MEDIAEDGE-CLEB	状態ログ	設定	ユーザーアカウント	録画ファイル	システム
状態					
ネットワーク					
コンビューター名	ME-CLE	B-P4			
Ethernet					
デバイス	Intel(R)	I211 Gigabil	Network Connection		
状態	Connec	ted			
物理アドレス	80:EE:7	3:EE:49:8B			
IPアドレス	192,168	103.58			
サブネットマスク	256-256				
デフォルトゲートウェイ	192.15				
DNSサーバー探索順			168,148,101,221,113,1	98 350(282 294 392 A;	
秒間送信バイト数					
秒間受信バイト数					
FTPサーバー					
状態	Stoppe				
セッション数					
共有フォルダ					
状態	Enabled				
入力					
ビデオ					
デバイス	SC0710	PCI, Video	01 Capture		

図 II-3 状態ページ

各情報は以下のパネルに分けて表示されます。

ネットワーク	ネットワークに関する情報を表示します。
入力	入力に関する情報を表示します。
出力ストリーム1	出カストリーム1に関する情報を表示します。
出カストリーム 2	出カストリーム2に関する情報を表示します。

■ II-1-3. ログ

CLEB で稼働している関連プログラムの動作ログを表示するページです。

MEDIAEDGE-CLEB 状態 ログ 設定 ユーザーアカウント 録画ファイル	システム
ログ	
ə Encoder (1) 🗸	
Elft 2020/12/04 (2)	
2020/12/04 11:02:43 > Opdate setting. 2020/12/04 11:02:43 > Changed video input format. (Format=No video)	
2020/12/04 11:02:43 > Changed audio input format. (Format=No audio) 2020/12/04 11:02:44 > Changed video input format. (Format=1920/1080 1:1 29.97 Upper)	
2020/12/04 11:02:44 > Chansed audio input format. (Format=48000Hz 2ch)	
2020/12/04 11:13:42 > Stop encode. 2020/12/04 11:13:42 > Lawte Research 13707 Descender	
2020/12/04 11:13:42 > Output0: Processed=0, Dropped=0	
2020/12/04 11:13:42 > Output1: Processed=0, Dropped=0	
2020/12/04 11:13:48 > Closed main window.	
2020/12/04 11:13:46 > Toput: Processed=12647. Dropped=8	
2020/12/04 11:13:48 > Output0: Processed=0, Dropped=0	
2020/12/04 11:13:48 > Output1: Processed=0, Dropped=0	
2020/12/04 11:14:20 > Start application. (Ver-2.1.7.0) 2020/12/04 11:15:11 > Loaded main window	
2020/12/04 11:15:14 > Update setting.	
2020/12/04 11:15:15 > Changed video input format. (Format=1920x100011:1 29.97 Upper)	
2020/12/04 11:13:16 / Unanged audio input format. (Format-48000Hz Zch)	

図 II-4 ログページ

①種類	表示するログの種類を選択します。
	「Encoder」、「AdminService」、「WebAPI」、「WebConsole」から
	選択します。
2日付	表示するログの日付を選択します。
③更新ボタン	最新のログを取得し、表示を更新します。
④ログファイルへのリンク	ログファイルを ZIP 形式にてダウンロードします。
	(WEB アクセス時のみ表示)
⑤ログ表示	選択されている種類と日付のログを表示します。

■ II-1-4. 設定

CLEB の各種設定を行うページです。

MEDIAEDGE-CLEB	状態 ログ	設定 ユー	ーザーアカウント	録画ファイル	システム
設定					
ホスト					
					_
コンピューター名	ME-CLEB-P4				
ネットワーク					
Ethernet					
☑ IPv4を有効化する					
⊙ DHCPサーバーから	IPアドレスを自動	で取得する			
● 次のIPアドレスを使	用する				
IPアドレス					
サブネットマスク					
デフォルトゲート					
ウェイ					
● DNSサーバーのアド	レスを自動で取得	导する			
	11史用 9 る	_	_		
優先DNSサーバー	_	_		_	
代替DNSサーバー					
FTPサーバー					
O FTPサーバーを無効	にする				
● FTPサーバーを有効	にする				
最大接続数	0				
	(1 to 50)				
保存元に戻す					

図 ||-5 設定ページ

各設定は以下の通りです。

▶ ホスト

ホスト		
コンビューター名	ME-CLEB-P4	

コンピューター名	ネットワーク上で識別するためのコンピューター名を設定します。設定
	後、変更を反映させるには再起動が必要です。

▶ ネットワーク

ネットワーク		
Ethernet		
☑ IPv4を有効化する		
● DHCPサーバーからIPアト	ドレスを自動で取得する	
● 次のIPアドレスを使用する		
IPアドレス		
サブネットマスク		
デフォルトゲートウェイ		
● DNSサーバーのアドレス	を自動で取得する	
● 次のDNSサーバーを使用 ⁻	ಕる	
優先DNSサーバー		
代替DNSサーバー		

IPv4 を有効化する	対象のネットワークアダプターに関して、IPv4 を有効にします。
DHCP サーバーから IP アドレス	IP アドレスを DHCP サーバーより取得するよう設定します。
を自動で取得する	
次の IP アドレスを使用する	使用する IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを手
	動で設定します。
DNS サーバーのアドレスを自動	DHCP サーバーより自動で DNS サーバーのアドレスを取得するよ
で取得する	うに設定します。
次の DNS サーバーを使用する	使用する DNS サーバーを設定します。
優先 DNS サーバー	優先して使用する DNS サーバーを設定します。
代替 DNS サーバー	優先 DNS サーバーからの反応がない場合に使用する DNS サー
	バーを設定します。

≻ FTPサーバー

FTPサーバー	
 ● FTPサーバーを無効にする ● FTPサーバーを有効にする ■ 最大絶読数 ● (1 to 50) 	
FTP サーバーを無効にする	FTP サーバーを停止させ、無効にします。
FTP サーバーを有効にする	FTP サーバーを有効にし、開始させます。
最大接続数	同時に接続できるクライアントの最大数(1-50)を設定します。

▶ 共有フォルダ

共有フォルダ	
● 共有フォルダを無効にする ● 共有フォルダを無効にする	

共有フォルダを無効にする 録	画ファイルが保存されているフォルダの共有を無効にします。
----------------	------------------------------

共有フォルダを有効にする	録画ファイルが保存されているフォルダの共有を有効にします。フォル	
	ダにアクセスする際は、役割がコンテンツユーザーであるアカウントでの	
	ログインが必要です。	

> NTP クライアント

NTPクライアント		
 ● NTPクライアントを無効にす。 ● NTPクライアントを有効にす。 		
NTPサーバー		
ポーリング間隔 (sec)		

NTP クライアントを無効にする	NTP クライアントによる時刻同期を無効にします。
NTP クライアントを有効にする	NTP クライアントによる時刻同期を有効にします。
NTP サーバー	使用する NTP サーバーを設定します。
ポーリング間隔(sec)	時刻補正を行う間隔(秒)を設定します。

> ユーザーインターフェース

ユーザーインターフェース			
タイトル			
,, ‡,,ト	 ● テキストのみ ● 	刻のみ ● テキストと時刻 ● 時刻とテキスト	
表示			
タイトルバー	□表示□非表	口除去	
設定末夕ン	図表示□非表	口除去	
電源ホタン	□ 表示 □ 非表	口除去	
オーディオメーター	□表示□非表	口除去	
操作领域	□表示□非表	口除去	
「Start」ボタン	□表示□非表	口除去	
「Stop」ボタン	□表示□非表	口除去	
情報領域	☑ 表示 □ 非表示	口除去	
田力ストリ・	-ム1,2をそれぞれ個別		

タイトル	ライブエンコーダー画面のタイトルバーに何を表示するか設定します。 選択可能なパターンはテキストのみ、時刻のみ、テキストと時刻、時 刻とテキストです。 テキスト表示する場合は任意の文字をテキスト
	欄に入力します。
表示	ライブエンコーダー画面の各項目の表示、非表示、除去の設定が
	できます。表示設定可能な項目は、タイトルバー、設定ボタン、電
	源ボタン、オーディオメーター、操作領域、Start ボタン、Stop ボタ
	ン、情報領域となります。出力ストリーム1、2をそれぞれ個別に
	操作するに√を入れると Start ボタン、Stop ボタンがそれぞれ2つ
	表示されます。√を外すと1つずつの表示となります。

~	
\rightarrow	• • • •
-	/ \ / J

入力			
	🛛 入力形式を自動検出する		
ビデオ			
	SC0710 PCI, Video 01 Capture	~	
社人	e続 HDMI		
እ ታ ታ-	イズ 1920x1080	▶	
フレームレー	- Þ 29.97	⊻	
デインターレー	-X Weave	~	
7-717			
デバー	SC0710 PCI, Audio 01 Capture	~	
入力	亲続 Embedded	Y	
サンプリングレート(Hz) 48000	>	
チャンネノ	レ数 2		

入力	入力形式を自動検知する	✔を入れると入力信号を自動で検知します。
ビデオ	デバイス	使用するビデオキャプチャーのデバイスを設定します。
	入力接続	使用するビデオ信号の入力接続を設定します。
	入力サイズ	入力されるビデオ信号のサイズを設定します。入力信号の
		フォーマットに合わせて設定してください。
	フレームレート	入力されるビデオ信号のフレームレートを設定します。入力
		信号のフォーマットに合わせて設定してください。
		入力信号がインターレース場合はプログレッシブのフレーム
		レートに置き換えて設定します。
		例: 59.94iの場合は29.97pで設定。
	デインターレース	入力されるビデオ信号に対するデインターレース処理を設
		定します。デインターレースしない場合は、Weave を設定
		してください。
オーディオ	デバイス	使用するオーディオキャプチャーのデバイスを設定します。
	入力接続	使用するオーディオ信号の入力接続を設定します。
	サンプリングレート	入力されるオーディオ信号のサンプリングレートを設定しま
		す。入力信号のフォーマットに合わせて設定してください。
	チャンネル数	入力されるオーディオ信号のチャンネル数を設定します。入
		カ信号のフォーマットに合わせて設定してください。

≻ 出力

出力		
出力ストリーム数	2	
■ システム起動後、自動でエンコードを開始する		

> 出力ストリーム1

出力ストリーム 1		
出力先 URI	D'RecordiRec_%t.mp4 以下のパラメーターをファイル名に使用できます。 %1:開始目時を挿入します。ex)201505011151000 %1 インテックスを挿入します。分割時間:0の時のみ有	如です.
コンテナ	MP4	
分割出力 ● 分割出力しない ● 時間指定により分割する		
時間(分単位)	0	
● サイズ指定により分割す		
サイズ(MByte)	0	
ビデオ		
コーデック	H264	
プロファイル	High 🔽	
レベル	4.1	
プリセット	UltraFast 💌	
キーフレーム間隔 (sec)	1	
	(1sec to 5sec)	
ビットレート (kbps)	15000	
	(100kbps to 40000kbps)	
1	1920	
	(320 to 1920)	
高さ	1080 (180 to 1080)	
画面マフペクトル	Fit	
	50.04	
	55.34	
	AAC	
Fw hla-h (kbps)	128	
(KBps)	(64kbps to 512kbps)	
サンプリングレー <u>ト (Hz)</u>	48000	
 チャンネル数	2	
音冊 (48)	0	
	(-50dB to 50dB)	

出力先	URI	出力先のパスを設定します。値がファイル名の場合、内蔵
		ストレージに録画されます。 値が URLの場合、 ネットワーク
		に出力されます。
		●記述例
		1、内蔵ストレージへ録画する場合
		D:¥Record¥Rec_%t.mp4
		(%t は開始日時挿入)
		コンテナには出力したいファイル形式を指定します。
		2、RTMP 配信する場合
		rtmp://配信先アドレス/live/demo1
		コンテナには FLV を指定します。
		3、Youtube に配信する場合

		rtmp://ストリーム URL/ストリームキー				
		ストリーム	URL やストリームキーは			
		Youtube	きから発行されたものを入力します。			
		コンテナには FLV を指定します。				
		4、RTP/RTSP 配信する場合				
		udp://S	VS1 または udp://SVS2			
		コンテナに	は MPEG-TS を指定します。			
		RTSP 接	続先の設定は			
		SVS1 を	皆定した場合			
		rtsp://酉	2信元アドレス/Content_Relay_1			
		SVS2 を	指定した場合			
		rtsp://酉	己信元アドレス/Content_Relay_2			
		となります。	°			
	コンテナ	出力するデータ	のファイル形式を設定します。			
分割出力	分割出力しない	内蔵ストレージ	への録画で分割しない場合選択します。			
	時間指定による分割	内蔵ストレージへの録画の際、分割する間隔(分)				
		します。				
	サイズ指定による分割	内蔵ストレージへの録画の際、分割するサイズ(Mbyte)を				
		設定します。				
ビデオ	コーデック	出力するビデオのコーデックを設定します。				
	プロファイル	コーデックのプロ	ファイルを設定します。			
	レベル	コーデックのレベ	いを設定します。			
	プリセット	コーデックで使用	用するプリセットを設定します。			
	キーフレーム間隔	キーフレームを打	挿入する間隔(秒)を設定します。			
	ビットレート	ビデオの出力ビ	ットレート(kbps)を設定します。			
	幅	ビデオの幅を設	定します。			
		ビブカの幅を設定します。				
	高さ	ビデオの高さを記	設定します。			
	高さ 画面アスペクト比	ビデオの高さを 画面アスペクト	設定します。 比を設定します。			
	高さ 画面アスペクト比	ビデオの高さを 画面アスペクト Fit	設定します。 比を設定します。 解像度に従った画面アスペクト比にしま			
	高さ 画面アスペクト比	ビデオの高さを記 画面アスペクト Fit	設定します。 比を設定します。 解像度に従った画面アスペクト比にしま す(ピクセルアスペクト比が1:1)。			
	高さ 画面アスペクト比	ビデオの高さを記 画面アスペクト Fit 16:9	設定します。 比を設定します。 解像度に従った画面アスペクト比にしま す(ピクセルアスペクト比が1:1)。 画面アスペクト比を16:9にします。			
	高さ 画面アスペクト比	ビデオの高さを語 画面アスペクト Fit 16:9 4:3	設定します。 設定します。 解像度に従った画面アスペクト比にしま す(ピクセルアスペクト比が1:1)。 画面アスペクト比を16:9にします。 画面アスペクト比を4:3にします。			
	高さ 画面アスペクト比 フレームレート	ビデオの高さを語 画面アスペクト Fit 16:9 4:3 ビデオの出力フ	設定します。 設定します。 解像度に従った画面アスペクト比にしま す(ピクセルアスペクト比が1:1)。 画面アスペクト比を16:9にします。 画面アスペクト比を4:3にします。 レームレートを設定します。			
オーディオ	高さ 画面アスペクト比 フレームレート コーデック	ビデオの高さを語 画面アスペクト Fit 16:9 4:3 ビデオの出力フ 出力するオーデ	設定します。 設定します。 解像度に従った画面アスペクト比にしま す(ピクセルアスペクト比が1:1)。 画面アスペクト比を16:9にします。 画面アスペクト比を4:3にします。 レームレートを設定します。 ディオのコーデックを設定します。			
オーディオ	高さ 画面アスペクト比 フレームレート コーデック ビットレート	ビデオの高さを語 画面アスペクト Fit 16:9 4:3 ビデオの出力フ 出力するオーデ オーディオの出	設定します。 設定します。 解像度に従った画面アスペクト比にしま す(ピクセルアスペクト比が1:1)。 画面アスペクト比を16:9にします。 画面アスペクト比を4:3にします。 レームレートを設定します。 ディオのコーデックを設定します。 カビットレート(kbps)を設定します。			
オーディオ	高さ 画面アスペクト比 フレームレート コーデック ビットレート サンプリングレート	ビデオの高さを語 画面アスペクト Fit 16:9 4:3 ビデオの出力フ 出力するオーデ オーディオの出た オーディオの出た	設定します。 設定します。 比を設定します。 解像度に従った画面アスペクト比にしま す(ピクセルアスペクト比が1:1)。 画面アスペクト比を16:9にします。 画面アスペクト比を4:3にします。 レームレートを設定します。 ディオのコーデックを設定します。 カビットレート(kbps)を設定します。 カサンプリングレートを設定します。			
オーディオ	高さ 画面アスペクト比 フレームレート コーデック ビットレート サンプリングレート チャンネル数	ビデオの高さを語 画面アスペクト Fit 16:9 4:3 ビデオの出力フ 出力するオーデ オーディオの出 オーディオの出 オーディオの出	 設定します。 設定します。 解像度に従った画面アスペクト比にします(ピクセルアスペクト比が1:1)。 画面アスペクト比を16:9にします。 画面アスペクト比を4:3にします。 レームレートを設定します。 ディオのコーデックを設定します。 カビットレート(kbps)を設定します。 カサンプリングレートを設定します。 カチャンネル数を設定します。 			

> ストリーム 2

設定項目や記述内容については出力1と同じです。

▶ ログ

ログ		
自動削除 ● ログファイルを削除しな ● 自動でログファイルを削	い 除する	
保存日数	100	
開始時間 (HH:MM)	00:00	

ログファイルを削除しない	ログファイルを削除するタスクを無効にします。
自動でログファイルを削除する	ログファイルを削除するタスクを有効にします。タスクを有効にすると、
	起動した際と指定された時間になった際に古いログファイルが削除さ
	れます。
保存日数	ログファイルの保存日数を設定します。最終更新日時から設定され
	た日数以上変更がないファイルが削除されます。
開始時間	タスクを実行する時間を設定します。設定する値は、「時:分」という
	フォーマットで指定します(例、午前 3 時にタスクを実行させる場合
	は、「3:00」と指定する)。

> 録画ファイル

録画ファイル	
アップロード アップロード先が登録されていません。 自動削除	新規組約
● 録画ファイルを削除しない	
● 保存日数が経過したファイルを削除する	
保存日散	
Біжаваев (нн:мм) 00:00	
● 空き容量が不足したら古いファイルを削除する	
空き寄量 (MByte) 10240	

アップロード	[追加]ボタンを押すと録画ファイルのアップロード先を設定できます。 タイプ(FTP、MMDS)、アップロード先 URL、ユーザー名、パスワード、アップロード速 度制限、録画後自動アップロードの是非などが設定できます。								
	アップロード先の追加 ×								
	タイプ MM	MDS	~						
	アップロード先URL								
	ユーザー名								
	パスワード								
	アップロード速度制限 30	Mbps							
	■ 録	画ファイルを自動的にアップロード [、]	する						
		新規追加	キャンセル						

	●アップロード先 URL の記述例							
	タイプで FTP を選択した場合							
	ftp:// <ftp td="" サーバ-<=""><td colspan="7">ーバーの名前または IP アドレス>/[ftp-path]/</td></ftp>	ーバーの名前または IP アドレス>/[ftp-path]/						
	タイプで MMDS(当社の	のマルチメディアサーバー)を選択した場合						
	MMDS サーバーの設定	ミにより、http もしくは https をお使いください。						
	http:// <mmds< td=""><td>名前または IP アドレス>/</td></mmds<>	名前または IP アドレス>/						
	https:// <mmdsの< td=""><td>名前または IP アドレス>/</td></mmdsの<>	名前または IP アドレス>/						
自動削除	録画ファイルを削除し	録画ファイルを削除するタスクを無効にします。						
	ない							
	自動で録画ファイルを	録画ファイルを削除するタスクを有効にします。タスクを有効に						
	削除する	すると、起動した際と指定された時間になった際に古い録画フ						
		アイルが削除されます。						
	保存日数	録画ファイルの保存日数を設定します。最終更新日時から設						
		定された日数以上変更がないファイルが削除されます。						
	開始日時	タスクを実行する時間を設定します。設定する値は、「時:分」						
		というフォーマットで指定します(例、午前3時にタスクを実行さ						
		せる場合は、「3:00」と指定する)。						

各項目を入力後、画面左下の定位置にあるフロートボタン [保存] を押すと入力した値が保存されます。 [元に戻す] を押すと、入力した値が無効となり、入力前の値に戻ります。



■ II-1-5. ユーザーアカウント

CLEBの Web コンソールや FTP サーバーヘログインするためのユーザーアカウントの設定を行うページです。

ME	DIAEDGE-CLEB	状態	ログ	設定	ユーザーアカウント	録画ファイル		システム
ニ	ーザーアた	ッウン	ィト					
	ユーザー名	1		役割			2	
	console			管理ユー	-ザー		変更	
	content			コンテン	<i>、</i> ツユーザー		変更	
							© 2019-2020 MEDIAEDGE C	orporation.

図 II-6 ユーザーアカウント一覧ページ

①ユーザーアカウント一覧	存在するユーザーアカウントの一覧が表示されます。
②変更ボタン	各ユーザーアカウントの編集画面を開きます。

MEDIAEDGE

変更ボタンを押す。

M	EDIAEDGE-CLEB	状態	ログ	設定	ユーザーアカウント	録画ファイル	システム
_	Lーザーアた	ッウン	۰ト				
	ユーザー名	console			1		
	新しいパスワード	•••••	•••••		2		
	バスワードの確認 入力	•••••	•••••		3		
	 (4) (5) 保存 キャンセル 						
							© 2019-2020 MEDIAEDGE Corporation.

図 II-7 ユーザーアカウント編集ページ

①ユーザー名	ユーザーアカウントの名前を入力します。
②新しいパスワード	新しぃパスワードを入力します。
③パスワードの確認入力	確認用に新しいパスワードを再度入力します。
④保存ボタン	変更した内容を保存します。
⑤キャンセルボタン	変更内容を破棄して、ユーザーアカウント一覧のページに戻ります。

■ II-1-6. 録画ファイル

録画ファイルの管理を行うページです。 ファイルの削除や手動アップロードなどができます。

ME	EDIAEDGE-CLEB 状態 ログ	設定 ユーザーア	ウント 録画ファイル		システム
鉰	通ファイル (10)				2 1.615GB / 1.819TB
	ファイル名 (<mark>3</mark>)	サイズ	作成日時	(4)	(5)
	REC1_20201203T172810.m2ts	(6) ^{69.59MB}	2020-012-03 17:28:11	詳細	削除
	REC1_20201203T170914.m2ts	1 86.72MB	2020-012-03 17:09:14	詳細	刑除
	REC2_20201203T145443.m2ts	79.42MB	2020-012-03 14:54:43	詳細	刑除
	REC1_20201203T145441.m2ts	83.07MB	2020-012-03 14:54:41	詳細	PIRE

図 II-8 録画ファイル管理ページ

①録画ファイルの個数	()内に録画ファイルの個数が表示されます。			
②容量表示	録画可能容量に対する録画済容量を表示します。			
	録画済みファイルの一覧表です。			
③球曲ノアイルのリスト	ファイル名、サイズ、作成日時などが確認できます。			
	録画ファイルの詳細情報の確認と手動アップロードが行えます。			
④ 計 細 ハ ダ ン	詳しくは図 II-9 録画ファイル詳細管理ページを参照ください。			

MEDIAEDGE

MEDIAEDGE CLEB P4-HDMI 取扱説明書

⑤削除ボタン	録画ファイルの削除が行えます。			
	転送回数が表示されます。			
の私区旧牧	緑:成功、黄色:転送中、赤:転送失敗			

例えば転送回数2回の詳細ボタンを押すと下記のポップアップ画面が表示されます。

U	ファイル名	record1 20190905T102344_4.mp4		
	サイズ	15.71MB (16.477.3728yles)		
	作成日時	2019-09-05 10:27:45		
	更新日時	2019-09-05 10 28 25		
アップし タイプ	א-ר ד עי ד	i) – F\$jurl	アプロード は 意	In sta
MMDS	https:/	Weisbi-Artenthantige gi/	RT 2019-09-05 10:28:35	ITH
	Marco a	vandst nedanoge gr	2019-09-06 14 48 36	1118
MMDS	THE PARTY			

図 II-9 録画ファイル詳細管理ページ

①録画ファイルの情報	ファイル名、サイズ、作成日時、更新日時が確認できます。					
②アップロード	アップロードの履歴が確認できます。					
③新規追加	アップロード先への追加ができます。 新規追加ボタンを押すと手動でアップロード先へアップロードを 開始します。 アップロード先の追加 × アップロード先の追加 × チャンセル					
④詳細ボタン	アップロードしたときに MMDS サーバーや FTP サーバーが 返す情報を確認できます。					
⑤更新ボタン	録画ファイルの情報を更新します。					
⑥閉じる	録画ファイル詳細画面を閉じます。					

■ II-1-7. システム

CLEBの各サービスのバージョン情報の表示と CLEBの電源管理をするページです。

MEDIAEDGE-CLEB 状態 口?	ブ 設定 ユーザーアカウント	〜 録画ファイル		システム					
システム									
バージョン情報									
サービス名	بر —:	ジョン番号							
Product	2.1.9								
Encoder	2.1.7								
AdminService	2.0.0								
WebAPI	2.1.4								
WebConsole	2.1.9								
電源管理									
	シャットダウン	再起動							
			© 2019-2020 MEDIAEDGE C	orporation.					

図 II-10 バージョン情報ページ

バージョン情報	製品のバージョンと各サービスソフトのバージョンを表示します。				
	Product(製品バージョン)				
	Encoder、AdminService、WebAPI、WebConsole (サービス)				
電源管理	シャットダウンボタンを押すと CLEB の電源が切れます。				
	再起動ボタンを押すと、CLEB が再起動します。				

III. 配信

この章ではネットワークを通して映像を配信する方法について説明します。

III-1. 配信手順

配信するための設定は以下の手順で行います。

[1] Web コンソールを起動します。Web コンソールの起動方法は「II-1」を参照してください。

[2] ナビゲーションバーより「設定」をクリックし、設定ページを開きます。

状態	ログ	設定	ユーザーアカウント	録画ファイル
	状態	状態 ログ	状態 ログ 設定	状態 ログ 設定 ユーザーアカウント

[3] 「出力」パネルまで移動し、「出力ストリーム数」を選択します。

出力		
出カストリーム数		
	システム起動後、自動でエンコードを開始する	

[4]「出力ストリーム1」パネルまで移動し、出力パラメーターを設定します。

出力ストリーム	1
出力先	
UR	I rtmp://rafale.mediaedge.jp:1935/live/demo01
	以下のパラメーターをファイル名に使用できます。 %1: 開始日時を挿入します。 ex) 201505017157000 %d∶インデックスを挿入します。分割時間>0の時のみ有効です。
コンテナ	FLV 💟
分割出力	
● 分割出力しない	

「出力先」の「URI」には、利用するサービスから指定された配信 URL を記述します。

RTMP プロトコルを用いて配信する場合は、「コンテナ」を「FLV」にしてください。

RTP/RTSP プロトコルを用いて配信する場合は「コンテナ」を「MPEG-TS」にしてください。

URIの記述については「II-2-4. 設定」の出力ストリーム1のURI説明の記述例を参考にしてください。 「出力ストリーム数」を「2」にした場合は、「出力ストリーム 2」パネルに移動し、出力ストリーム2も同様に 設定します。 [5] ページ下部フロートボタンの「保存」を押すと、変更内容が保存されます。



すでにエンコードが開始されている場合は、保存する前にエンコードを停止するか確認するダイアログが表示 されます。OK ボタンを押すとエンコードが停止し、設定が保存されます。

■ III-1-1. 開始

ライブエンコーダー画面の「Start」ボタンを押すと配信が開始されます。



Web コンソールから開始する場合は、トップページの「エンコードを開始する」ボタンを押します。

MEDIAEDGE-CLEB	状態 ログ	設定 ユー	・ザーアカウント	録画ファイル	システム					
MEDIAEDGE-CLEB										
	状態	FPS	出カフレーム	詳細						
入力	Running	30.00	389	[Video]1920x1080 1:1 29.97 Upper, [Audio]48000Hz 2ch						
出カストリーム 1	Ready			D:\Record\REC1_%t.m2ts						
出カストリーム 2	Ready									
121-	ド#1を開始する	5) I>		上する エンコード#2を開始する エンコード#2を停止する						
				© 2019-2020 MEDIAEDGE C	orporation.					

■ III-1-2. 停止

		2020/10/28	3 02:28 PM			
Status Setting	Start	Stop	Start	Output2	P	
Video	signal: 1920x1080 1:1 29.97 Uppe	er Audio signal: 48	000Hz 2ch	Dropped frames:	0	
Flanse: 7	.05:27:01 CPU: 29.85%	Network: 88	864.778 kbps	Disk space: 1862	2.402 GB	
Output1						
Output1 State: Running	FPS: 30 Waiting fram	mes: 0	Processed frame	s: 351	Dropped frames: 0	

ライブエンコーダー画面の「Stop」ボタンを押すと配信が停止します。

Web コンソールから開始する場合は、トップページの「エンコードを停止する」ボタンを押します。

Μ	EDIAEDGE-CLEB 状	態 ログ 🗄	安定 ユー	ザーアカウント 録	画ファイル	システム				
١	MEDIAEDGE-CLEB									
		状態	FPS	出カフレーム	詳細					
	እታ	Running	30.00	389	[Video]1920x1080 1:1 29.97 Upper, [Audio]48000Hz 2ch					
	出カストリーム 1	Ready			D:\Record\REC1_%t.m2ts					
	出カストリーム 2	Ready			udp://SVS1					
	エンコード#	1を開始する]ード#1を停止す	る エンコード#2を開始する エンコード#2を停止する					
					© 2019-2020 MEDIAEDGE CC	rporation				

IV. 録画

この章では内蔵ストレージへ録画する方法について説明します。

IV-1. 録画手順

■ IV-1-1. 設定

録画するための設定は以下の手順で行います。

- [1] Web コンソールを起動します。Web コンソールの起動方法は「II-1. WEB コンソールの起動」を参照してください。
- [2] ナビゲーションバーより「設定」をクリックし、設定ページを開きます。



[3]「出力」パネルまで移動し、「ストリーム数」を選択します。

出力	
出カストリーム数	1 マート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

[4] 「出力ストリーム1」パネルまで移動し、出力パラメーターを設定します。

出力ストリーム 1		
出力先		
URI	D:\Record\Rec_%t.mp4	
	以下のパラメーターをファイル名に使用できます。 %1:開始日時を挿入します。 ex) 20150501T151000 %d:インデックスを挿入します。分割時間>0の時のみ≉	इग्रीट में.
コンテナ	MP4	
分割出力		
 分割出力しない 		
 ● 時間指定により分割する 		
時間(分単位)	0	
 ● サイズ指定により分割する 		
サイズ(MByte)	0	

MEDIAEDGE

「出力先」の「URI」には、ファイル名を指定します。保存先にすでに同じ名前のファイルがある場合は上書 きされます。ファイル名に「%t」を含めると、録画開始の日時が自動で挿入されます。例えば、 「Record_%t.mp4」とした場合、エンコード開始時に「Record_20150401T133000.mp4」というよ うな名前に変換されます。

録画ファイルを分割して収録する場合、時間またはサイズの指定で分割できます。 ファイルを分割する場合はファイル形式の特性から MP4 よりも MPEG-TS 形式を推奨します。

分割をサイズで指定するとエンコーダーの特性により若干の誤差が発生します。

分割設定するさいに、%dを含めると分割ごとに番号が振られます。 %d が含まれない場合には自動的に 末尾に「-%d」があるものとして動作します。

「ストリーム数」を「2」にした場合は、「出力ストリーム 2」パネルまで移動し、出力ストリーム 2 も同様に設定します。

[5] ページ下部フロートボタンの「保存」を押すと、変更内容が保存されます。



すでにエンコードが開始されている場合は、保存する前にエンコードを停止するか確認するダイアログが表示 されます。OK ボタンを押すとエンコードが停止し、設定が保存されます。

■ IV-1-2. 開始

ライブエンコーダー画面の「Start」ボタンを押すと配信が開始されます。



MEDIAEDGE-CLEB	状態 ログ	設定 ユー	ザーアカウント 🕯	薄ファイル	システム
MEDIAEDGE-CLEB					
	状態	FPS	出カフレーム	詳細	
入 力	Running		389	[Video]1920x1080 1:1 29.97 Upper, [Audio]48000Hz 2ch	
出カストリーム 1	Ready			D.\Record\REC1_%I.m2Is	
出カストリーム 2	Ready				
	ド#1を開始する			でる エンコード#2を開始する エンコード#2を停止する	
				© 2019-2020 MEDIAEDGE C	Corporatio

Web コンソールから開始する場合は、トップページの「エンコードを開始する」ボタンを押します。

■ IV-1-3. 停止

ライブエンコーダー画面の「Stop」ボタンを押すと配信が停止します。

Web コンソールから開始する場合は、トップページの「エンコードを停止する」ボタンを押します。

MEDIAEDGE-CLEB	状態 ログ	設定 ユー	・ザーアカウント 録	酒 ファイル	システム	
MEDIAEDGE-	MEDIAEDGE-CLEB					
	状態	FPS	出力フレーム	詳細		
入力	Running	30.00	389	[Video]1920x1080 1:1 29.97 Upper, [Audio]48000Hz 2ch		
出カストリーム 1	Ready			D:\Record\REC1_%t.m2ts		
出カストリーム 2	Ready					
ו-בעד	×#1を開始する	E	コード#1を停止す	る エンコード#2を開始する エンコード#2を停止する		
				© 2019-2020 MEDIAEDGE C	orporation.	

IV-2. 録画ファイルの参照

CLEB では、内蔵ストレージに録画されたファイルを参照する手段として、FTP サーバーと共有フォルダをサポート しています。各機能は Web コンソールの設定より、有効もしくは無効にすることができます。

■ IV-2-1. 設定

出荷時は、FTP サーバーと共有フォルダは無効になっております。有効にするには、以下の手順で行います。

● FTP サーバーを有効にする

[1] Web コンソールを起動します。

[2] ナビゲーションバーより「設定」を選択し、設定ページを開きます。

[3] 「FTP サーバー」の「FTP サーバーを有効にする」を選択し、「最大接続数」に1以上の値を入力します。

[4] ページ下部の「保存」ボタンを押し、設定を保存します。

● 共有フォルダを有効にする

[1] Web コンソールを起動します。

- [2] ナビゲーションバーより「設定」を選択し、設定ページを開きます。
- [3] 「共有フォルダ」の「共有フォルダを有効にする」を選択します。
- [4] ページ下部の「保存」ボタンを押し、設定を保存します

■ IV-2-2. 接続

1、FTP サーバーとの接続方法

ブラウザーを起動し、<u>ftp://<CLEBのIPアドレス</u>>を入力します。

2、共有フォルダとの接続方法 Windows のエクスプローラを起動し、アドレスバーに <u>¥¥<CLEB の IP アドレス></u>を入力します。

FTP サーバー、共有フォルダにアクセスする際は、役割がコンテンツユーザーになっているアカウントでのログインが 必要です。出荷時のアカウントは以下のように設定されています。

ユーザー名	content
パスワード	default

他の FTP クライアントの使用方法に関しましては、各アプリケーションのマニュアルをご参照ください。

V. サポート情報

この章では、問題があった場合の対応方法、出荷時の設定について説明します。

V-1. トラブルシューティング

■ V-1-1. ライブエンコーダー

プレビューに「No signal」と表示される	映像が入力されていないとプレビューに「No signal」と表示さ
	れます。入力ケーブルが抜けていないか、映像ソースが電源
	OFF になっていないか確認してください。
プレビューに「HDCP」と表示される	プロテクトのかかった映像を入力すると、プレビューに「HDCP」
	という文字が表示されます。CLEB では、プロテクトのかかった
	映像はキャプチャーすることはできません。
エンコードを開始してもストリームが出力	CLEB では入力されているビデオ、オーディオのフォーマットが
されない	設定と一致しない場合、正常にエンコードできないため、エン
	コードを停止させています。
	状態タブの入力ビデオ、入力オーディオの値を確認し、設定を
	合わせてください。
	入力に合わせて動作する機能を使う場合は、「Ⅱ-1-4設
	定」の入力の項目の「入力形式を自動検知する」に、そ入れ
	てください。

■ V-1-2. Web コンソール				
hute State /=[Encoder not				
rygr = 90 State ici Encoder not	リイノエノコーターの状態取得に対して、タイムパリトした場			
present」と表示される	合、State に「Encoder not present」と表示されます。			
	CLEB に電源を入れてからしばらくの間は、ライブエンコーダー			
	はまだ起動中のため、State がこのような値になります。			
ネットワークの設定が反映されない	ネットワークの設定を反映するには CLEB の再起動が必要で			
	す。設定後、CLEB を再起動させてください。			

	V-1	-3.	出力	映像
--	-----	-----	----	----

映像が汚い 要因としては以下のことが考えられます。

MEDIAEDGE

	1. ビットレートが低い。
	2. 出力後の解像度が低い。
映像が櫛状に表示される	デインターレースの設定が無効の場合、インターレースの映像
	をエンコードすると、動きのある部分で櫛状になることがありま
	す。Web コンソールで、ビデオ入力のデインターレースを有効
	にしてください。
出力の縦横比が入力と一致しない	CLEB では、エンコードの映像のピクセルアスペクト比は 1:1
	になります。このため、ディスプレイアスペクト比が 16:9 や 4:3
	の SD 映像などをスケーリングせずにエンコードすると、元の映
	像とは違うディスプレイアスペクト比になってしまいます。
映像が正常な速度で再生されない	実際にキャプチャーできるフレームの間隔とビデオ入力のフレー
	ムレートの設定が一致しないと、正常な再生速度になりませ
	ん。入力映像のフォーマットを確認し、Web コンソールでビデ
	オ入力のフレームレートを確認したフォーマットと同じ値に設定
	してください。入力映像のフォーマットは、ライブエンコーダー画
	面の状態表示タブ、もしくは Web コンソールの状態ページに
	て確認できます。

V-2. 注意事項

- 1、MEDIAEDGE CLEB P4 に操作用モニターを接続して作業をするときは、必ずモニター ケーブルを接続し、モニターの電源を入れた状態で本体を起動してください。 起動した後に モニターを接続した場合、正常に表示されないことがあります。
- 2、フロント USB はキーボード、マウス専用としてお使いください。 USB 接続の外部ドライブなどの使用時は背面の USB をお使いください。

VI. Appendix

VI-1. 仕様

■技術仕様

入力		
映像 端子		HDMI (Type A, 19ピン)
	フォーマット	1920x1080/59.94i
		1920x1080/50i
		1280x720/59.94p
		1280x720/50p
		720x480/59.94i
		720x576/50i
音声	端子	HDMI に重畳
	フォーマット	48kHz Stereo 16bits
		44.1kHz Stereo 16bits
		32kHz Stereo 16bits

出力		
配信	RTMP、RTP/RTSP	
録画	内蔵ストレージに録画 (MP4、FLV、MPEG-TS)	
	容量約 2TB	

■ハードウェア仕様

サイズ	
外形サイズ	200(W) × 240(D) × 78(H) mm ※突起物は含まず。
質量	1.91Kg

定格		
電源電圧	AC アダプター	入力:AC 100V~240V(50Hz/60Hz) 2.5A(max)
		出力:DC 19.5V 9.23A
	本体	入力:DC 19.5V 9.23A
	最大消費電力	通常動作時:60W
RoHS	対応	

ネットワーク		
LAN ポート	形式	1000Base-TX ×1
		Ethernet/IEEE802.3 フレーム形式に準拠
	端子	RJ45 モジュラーコネクタ ×1

汎用入出力		
USB	形式	USB 3.0 準拠
	端子	USB Type A ×2 (前面)
	形式	USB 2.0 準拠
	端子	USB Type A ×2(前面) ×4(背面)



(突起物は含まず)